

04 いっしょに取り組む仲間の取組事例

沖縄でSDGsを進めるために ~みんなの役割~

沖縄でSDGsの取組を進めるには、様々な立場の人たちが力を合わせる必要があります。企業・団体や自治体、そして県民一人ひとりが「自分にできること」を意識して行動することが大事です。みんなにどんな役割が期待されているのか、そしてどのような取組が行われているのかを、「沖縄県SDGs実施指針」をもとに紹介します。

1 | ビジネス・民間組織

- 企業は、経営の考え方や仕事の進め方に、SDGsを取り入れることが大切です。
- 仕事の中でSDGsにつながる工夫をしたり、社会の問題を解決する新たなビジネスを考えたりします。

2 | 金融・ファイナンス

- 中小企業を助けるための融資を充実させたり、社会のために活動する団体にお金を届ける仕組みが求められます。
- また、ESG金融にも力を入れていきます。

3 | 県民一人ひとりや県民のグループ

- 声を上げられない、上げにくい人たちの声を聞き取り、みんなの活動に反映させるよう橋渡しすることが大切です。
- 海のごみをへらしたり、食べ物をむだにしないよう工夫するなど、県民一人ひとりが、身近な行動を続けていきましょう。

「ユネスコSDGsパスポート」は、ボランティア活動や平和学習、SDGsに関する取組を記録する冊子。小中高生から社会人まで利用でき、ポイントをためて認定証を取得することができます（沖縄県ユネスコ協会）



4 | 女性

- 女性が教育や仕事などに公平に参加できることが大切です。
- 女性が話し合いの場に参加すると、女性はもちろん、お年寄りや子ども、障がいのある人、LGBTQなど、色んな人たちの意見を取り入れやすくなります。
- ジェンダーを問わず、みんなが平等に活躍できる社会を目指しましょう。

5 | こども・若者

- SDGsの達成期限の2030年以降の社会をささえる若者が、SDGsについて考え、意見を言うことが大切です。
- 若者が意見を言える場をつくり、企業や団体といっしょにSDGsを進めていきましょう。

「SDGs全国フォーラム2024沖縄」で、県内高校生・大学生が2030年に向けた力強いメッセージを発信（沖縄県）



6 | 教育機関

- SDGsを学ぶ授業に、力を入れていきます。こどもたちに分かりやすい教材や、先生向けの研修を充実させます。
- 地域や企業と協力しながら、こどもたちにSDGsを教えます。



県内SDGs指定校の学生と、長野県の学生とのオンライン交流会（沖縄県）

7 | 研究機関

- SDGsを知るのに役立つデータを集めて分析したり、科学の力で課題を解決する方法を探します。

8 | 文化・芸術やスポーツを 広める人

- 沖縄ならではの言葉や伝統芸能、スポーツなどを活かして、沖縄の心を未来に伝えることが大切です。



2025大阪・関西万博での、
沖縄の伝統文化のステージ

9 | マスメディア

- 社会の問題を分かりやすく伝え、声を上げられない、上げにくい人たちの思いもすくい上げます。
- 色んな団体と協力して情報を発信します。

11 | 議会

- 住民の声をよく聞き、課題を解決するための政策を話し合う、大切な場です。SDGsの考え方を取り入れることが求められます。

10 | 市町村

- それぞれの地域に合ったやり方で、SDGsの取組を進めます。沖縄県と市町村で情報を共有して協力します。
- 地域団体や企業、住民と協力しながら、SDGsの取組を広げていきます。



「世界一サンゴと人にやさしい村」を目指し、サンゴ礁を守る活動・赤土流出対策などを進める(恩納村)

12 | 観光客

- 観光で沖縄に来る人たちへ、沖縄でSDGsの取組を進めることの大切さを知ってもらったり、SDGsの取組をいっしょに進めたいと思ってもらうことが大切です。

沖縄県が目指すサステナブルツーリズムのあり方(概念図)



三方良しを目指す「世界から選ばれる持続可能な観光地」

沖縄でSDGsの取組を進めるために、県民・企業・観光客が何をしていくかを定めた「沖縄サステナブルツーリズム宣言」(沖縄県)

13 | 世界のウチナーンチュ (ウチナーネットワーク)

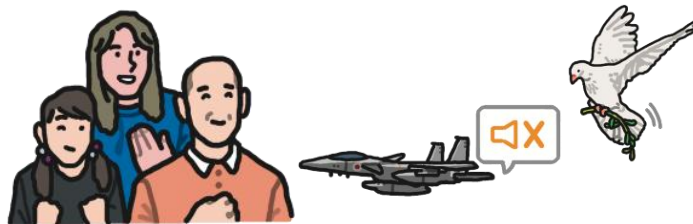
- 沖縄出身の人やその子孫を「ウチナーンチュ」と言います。海外に住むウチナーンチュも多く、世界に約42万人いると言われています。
- このつながり(ウチナーネットワーク)を大切に、交流を深めながら、いっしょに沖縄の発展を目指しましょう。



世界各国のウチナーンチュが沖縄に集まり、県民との交流を深めるイベント「世界のウチナーンチュ大会」

05 平和や文化に関する取組

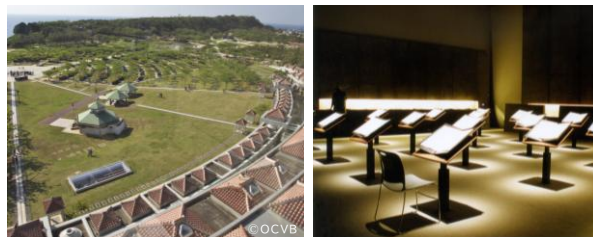
平和に関する取組



1 平和を学ぶ

■ 沖縄県平和祈念資料館

住民が体験した沖縄戦の様子や、戦争が終わって平和を目指す沖縄の人たちの姿を映像や模型を使い描くことで、戦争の恐ろしさや平和の尊さを訴えています。また、戦後80年がたち、戦争体験者がへっている中、沖縄戦の実相と教訓を次世代へつなぐため、沖縄戦の語り継ぎ手の養成に取り組んでいます。



左:平和祈念公園 右:常設展示室 沖縄戦の証言

参加者の声

沖縄戦を多様な視点で学ぶことができました。歴史的な背景・平和資料館の活用、ワークショップなど多様な学びを通して沖縄戦を伝えられる語り手としてがんばりたいです。

くわしくは
こちら



■ 平和の礎

沖縄戦が終わって50年目の1995(平成7)年、沖縄県民の平和を求める心を広くアピールし、世界平和に役立つことを願ってつくられました。

波のように連なる刻銘版には、世界の平和を願い、沖縄戦などで亡くなった約24万人の氏名が刻まれています。

くわしくは
こちら



刻銘版

2 沖縄の歴史を次世代へつなぐ

■ 担い手の育成

国際協力や平和発信に関わる人材を育成するために、県内の大学生を国際協力NGOの活動現場へ派遣する機会をあたえています。

研修先で
幼児健診を
行う様子



■ 「平和への思い」発信・交流・継承

平和構築のためのネットワークづくりと人材育成を目的に、相互理解を深めるための共同学習に取り組んでいます。

くわしくは
こちら



「シンポジウム
あしたのアジア」



文化に関する取組



1 | 琉球歴史文化の日

沖縄県では、先人たちがつくりあげてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会を形作るとともに、新たな歴史と文化を自らの手でつくりだすことを目指すため、2021年から11月1日を「琉球歴史文化の日」と決めました。琉球歴史文化の日が、祖先(ウヤファーフジ)への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みによりそうチムグクルを育む日として広く知ってもらえるよう取り組みます。



琉球歴史文化の日
シンボルマーク

具体的な取組

- 琉球歴史文化の日の記念イベント
毎年11月1日に県内劇場で学生無料の伝統芸能の公演を行う
- 琉球歴史文化の日関連ワークショップ
児童生徒を対象に、伝統芸能の鑑賞教室を学校で行う



琉球歴史文化の日記念イベントで披露された伝統芸能の様子

参加者の声

組踊はテレビで少し見たことがある程度だったので、やっぱり自分の目で直接見るのは迫力がちがうし、物語の世界に入りこめるので良いなと思いました。

くわしくは
こちら



2 | しまくとぅば学童学習の取組

沖縄文化の土台である「しまくとぅば」が失われると、沖縄の組踊や琉球舞踊なども衰退するとともに、県民の郷土愛も失われ、結果的に沖縄文化の衰退へとつながることが心配されます。この取組では、学童保育に通う小学生とその家族、そして地域コミュニティのしまくとぅばに対する関心を高めることを目的に、しまくとぅばの学習やワークショップイベントを行います。

しまくとぅば講座の様子



具体的な取組

- しまくとぅば講座
- しまくとぅばワークショップ
- しまくとぅば絵本の読み聞かせ
- しまくとぅば発表会



くわしくは
こちら



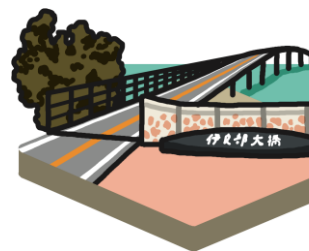
あなたが考える理想の沖縄は どんなまちですか？

「理想の沖縄」「理想の自分」を想像し、
思いついたアイデア・イラストを空いているスペースに
描いてみましょう！

マン
グ
ロ
ー
ブ
の
森



八
重
山
圏
域



イ
リ
オ
モ
テ
ヤ
マ
ネ
コ



【03 優先課題で見る沖縄】で気になった優先課題について、「現状の課題」

優先課題



どんな課題があるだろう？



課題を解決するための
アクションを考えてみよう！

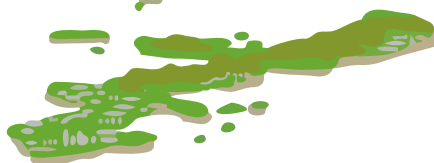
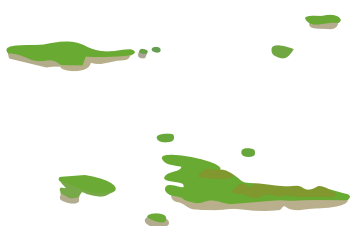
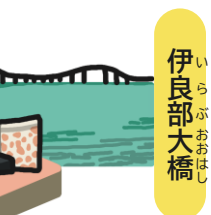
わたしが考える理想の沖縄は・・・



です

理想の沖縄を考えるヒント

- 自然を守る沖縄ってどんな姿すがただろう？ ● 文化を大切にするまちってどんなまち？
- 観光と環境は両立できるのかな？



と「課題を解決するためのアクション」を考えてみよう！

優先課題



どんな課題があるだろう？



課題を解決するための
アクションを考えてみよう！

もっと沖縄県のSDGsを知りたい人へ

おきなわSDGs プラットフォーム

おきなわSDGsプラットフォーム

「おきなわSDGsプラットフォーム」は、沖縄県内においてSDGsに関連する活動に取り組んでいる、または関心を持っている人たちが「情報共有」や「交流・協力」を行う場です。



沖縄県SDGsモニタリング報告書 ほうこくしょ

沖縄県では、県内のSDGsに関する取組の進み具合を定期的にチェックすることを目的に「沖縄県SDGsモニタリング報告書」を作成しています。



沖縄県VLR (自発的自治体レビュー)

沖縄県では、県内のSDGsに関する取組の進み具合を評価し、その結果をまとめたレポート「VLR(Voluntary Local Review, 自発的自治体レビュー)」を国際連合へ提出・公開しています。



おきなわSDGsのとびら

沖縄県教育委員会では、持続可能な社会の実現を目指してSDGsやESDなどの理解を深めていくために、各学校や関係機関において活用いただける資料を作成しています。



SDGs用語集

ESG金融 <small>きんゆう</small>	環境や社会に良いことをする会社を応援するために、お金を出す仕組み。 <small>かんきょう おうえん</small>	国際物流特区	外国とのやりとりをやすくするため、特別なルールで物を運べる地域。
ICT (デジタル)	コンピューターやインターネットを使って、生活や仕事を便利にする技術。 <small>ぎじゆつ</small>	国際連合/国連	世界の国が集まり、世界の平和のために活動する団体。
JICA (独立行政法人国際協力機構) <small>どくりつ ぎょうせい きこう</small>	日本が、世界の困っている国を助けたり、生活を良くする手伝いをする団体。 <small>こま</small>	生涯学習 <small>しょうがい</small>	大人になっても、ずっと学び続けること。
LGBTQ	いろいろな性や性別の考え方があることを表す言葉。 <small>せい</small>	持続可能な開発目標	地球や人がずっと安心してくらすために、世界で決めた17の目標。
NGO	お金をもうけるためではなく、困っている人のために海外で活動している団体。	相互理解 <small>そうごりかい</small>	おたがいの考えや立場のちがいを知り、分かろうとすること。
NPO法人/NPO	お金をもうけるためではなく、困っている人のために国内で活動している団体。	ダイバーシティ	年れい・性別・文化などのちがいを大切にし、力を合わせること。
一般社団法人 <small>いっぱん</small>	社会のための活動をする団体。	脱炭素 <small>だつたんそ</small>	二酸化炭素などをふやさないように、出す量をへらすこと。 <small>にさんかたんそ</small>
インターン	学生などが、会社で短い期間働いて、仕事を体験すること。	地産地消	地元で生産された食材を、地元で買ったり食べたりすること。
外来種	もともといなかった地域に、つれてこられたり、やってきた生き物。 <small>ちいき</small>	融資 <small>ゆうし</small>	銀行などが、お金を必要な人や会社に貸すこと。 <small>か</small>
行政 <small>ぎょうせい</small>	国や都道府県・市区町村が、みんなの生活を良くするために行う仕事やサービス。	ユネスコ(国連教育科学文化機関)	世界の国が集まり、教育・科学・文化などを守り広げるために活動する団体。
クリーンエネルギー	太陽光・風・水などの自然の力を使って、地球をよごしにくい方法でつくる電気や熱。	ローリングストック	ふだんから食べ物を多めに買っておき、食べた分だけ買い足して、災害に備える方法。 <small>さいがい そな</small>
公益財団法人 <small>こうえきざいだん</small>	集めたお金を使って、みんなの役に立つ活動をささえる団体。		



わたしたちがつくる
美ら島
ちや
の明日
 沖縄らしい
SDGs アクションガイド

